



CNHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター

Vol.8 July – September 2022

■ イベント情報

● レジリエント社会・地域共創シンポジウム

CNHRでは下記の通り令和4年度**レジリエント社会・地域共創シンポジウム「海溝型地震の被害想定と減災」**を開催します。

- 日時：令和4年11月2日（水）13:00~16:10
(12:30開場)
- 場所：コーチャンフォー釧路文化ホール「小ホール」
- 主催：北海道大学広域複合災害研究センター、読売新聞北海道支社、一般社団法人国立大学協会
- 後援：国土交通省北海道開発局、北海道、釧路市
- 趣旨：日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の発生が懸念されるなか、内閣府の有識者検討会は2021年12月に津波浸水想定を発表し、本年7月には北海道による被害想定が公表されました。本シンポジウムでは、地震発生メカニズムや津波浸水・被害想定のお考え、積雪寒冷地における避難行動や避難所運営に関する知見を発信し、連鎖複合災害や効果的な減災対策について議論します。

※参加無料です。また、当日はYouTubeを利用したLive配信があります。詳細は下記のセンターwebサイトをご覧ください。多数のご参加をお待ちしております。

<https://www.cnhr.info/activity>

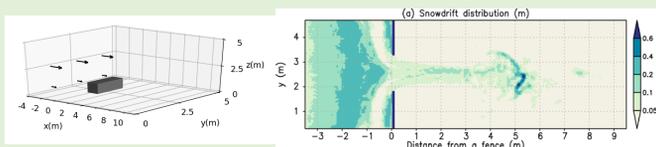


■ 研究者紹介

稲津 将 (いなつ まさる)

理学研究院 地球惑星科学部門 教授
広域複合災害研究センター 兼務教員

気象学研究室では雲物理、雪氷気象、寒冷地の災害や環境問題、気象予報などを対象に、手法を問わずに研究しています。例えば、気候変動が原因で出現しやすい天気図を同定し、将来の災害予測を行っています。また、吹雪・吹きだまりに関するシミュレーションモデルを開発し、防雪柵が果たす役割やその最適設計に係る計算を行っています(下図)。



■ 活動報告

● 大学院共通科目「国土保全学総論」(終了) (4月7日~7月14日@農学部本館N21講義室)

今年度もCNHR所属教員のほか、防災や災害対応の実務経験者、国土計画に関わる専門家を招聘して、大学院共通科目「国土保全学総論」を開講しました。6月30日には道庁協力のもと、札幌市内で防災対策に係る現地見学も実施しました。



現地見学の様子

● 大学院共通科目「突発災害危機管理論」

CNHR所属教員等によるオムニバス形式で大学院共通科目「突発災害危機管理論」を下記の通り開講します。聴講を希望される方は事務局までご連絡ください。

	月日	タイトル	キーワード、概要	講師
1	9/29	防災と地域の発展	自然災害と社会・土地利用の変化、広域複合災害	厚井高志 (CNHR)
2	10/6	気候変動と災害	気候変動、降雨予測	稲津 将 (理)
3	10/13	地震と津波	海溝型地震と津波、直下型地震	谷岡勇市郎 (理)
4	10/20	洪水災害と治水	洪水、水害、治水、気候変動	泉 典洋 (工)
5	10/27	土砂災害リスクを捉える	航空レーザー計測を活用した危機管理	笠井美青 (農)
6	11/10	火山災害	火山活動、北海道の火山	青山 裕 (理)
7	11/17	リモートセンシングと雷観測	防災監視システム、雷・落雷観測	高橋幸弘 (理)
8	11/24	突発災害の実際と課題	災害マネジメント、緊急・応急対応、防災対策	山口真司 (CNHR)
9	12/1	地震と都市災害	工学的防災論、安全保障と防災、都市・建築防災	岡田成幸 (前CNHR)
10	12/8	火山地域の土砂災害と減災	火山、土砂移動、土砂災害、減災	山田 孝 (農)
11	12/15	雪崩・融雪災害	集落雪崩対策、融雪地すべり	桂 真也 (農)
12	12/22	道路交通における吹雪災害軽減	吹雪、冬季交通障害	萩原 亨 (工)
13	1/5	災害情報の処理	防災のための情報処理技術、地理情報活用	橋本雄一 (文)
14	1/12	総合的な防災行政	風水害に対する防災施策、砂防政策の展開	南 哲行 (砂防・地すべり技術センター)
15	1/19	防災とロボット技術	ロボット技術を用いた広域複合災害情報システムの実現	江丸貴紀 (工)

北海道大学 広域複合災害研究センター

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

Tel: 011-706-3882 Fax: 011-706-4695

Email: cnhr-unei@cen.agr.hokudai.c.jp

ホームページ: <https://www.cnhr.info/>

メンバー活動報告

名前	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
山田 孝	センター長 農学研究院・教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法
井上 京	農学研究院・教授	農業土木学	低平地, 特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
鮫島良次	農学研究院・教授	農業気象学	気候資源と農業生産に関わる研究
佐々木貴信	農学研究院・教授	木材工学	災害発生時の倒れ木等の利活用に関する研究
笠井美青	農学研究院・准教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
厚井高志	副センター長 CNHR・准教授	砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における水文過程および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
萩原 亨	工学研究院・教授	交通工学	道路における暴風雪災害を防ぐため、CCTVカメラで補足できない区間や路線の視界を車載カメラから評価する技術を開発している。道路管理および他車への情報提供することを目的としている。
永田晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発(本年度中にプロトタイプモデルの完成を目指しています)
江丸貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・ 制御工学	・大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボスタSLAM ・港湾の維持管理を目的としたGNSSトラッカーの開発
戸谷 剛	工学研究院・教授	機械工学	超小型衛星の熱設計の研究を行っています。最近、超小型衛星用の乱水域検出センサーの研究開発を始めました。
山田朋人	工学研究院・教授	水文学	・気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究 ・地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
安成哲平	北極域研究センター・准教授	大気環境科学・ 雪氷学	北極域及び周辺域における森林火災及びその大気汚染発生の要因分析と予測に関わる研究。また、これらの健康・気候・経済的影響についての分野横断的研究。
石川達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
渡部要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
橋本雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
谷岡勇市郎	理学研究院・教授	地震学・ 津波学	広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIに投稿する。
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
高橋幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・ 雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築
山口真司	CNHR・特任教授	地域防災・マネジ メント学	複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関する研究
丸谷知己	名誉教授(北海道立 総合研究機構・理事)	砂防学	—
小山内信智	客員教授(政策研究 大学院大学・教授)	砂防学	—
奥野信宏	客員教授(名古屋 都市センター長)	公共経済学	—
今 日出人	客員教授(株式会社ドーコン)	地域防災学	—
岡田成幸	客員教授((一財)砂防・地すべり技 術センター, アジア航測株式会社)	地震防災計画 学(建築系)	—
佐野寿聡	研究員(アジア航測株式会社)	—	—
伊藤 剛	研究員(読売新聞北海道支社)	—	—
村上泰啓	研究員(北海道開発局)	—	—
原田和子	事務	—	—